

基礎分野	科目名：論理学	講師：外部講師	1 単位 15 時間 (1 年次前期)
学習目標	<p>日常の言語生活および諸学問の道具（オルガノン）である論理学の初歩学び、論理的思考の重要性を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的思考及びその言語的表現について学ぶ。 2. 思考の矛盾や妥当性を判断して処理する能力を養う。 3. 事実を正しく解釈し言語的に表現する。 		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	「知っている」とはどういうことか	原因と論証	講義
2	古典アリストテレス論理学	三段論法、主語・述語の推論	講義
3	主語・述語関係から関数関係へ	アリストテレス論理学からフレーゲ論理学への移行。A E I Oをどう翻訳するか。	講義
4	規則と照明（1）	条件法除去、 連言導入とれ連言除去	講義
5	規則と照明（2）	条件法導入（条件的証明）	講義
6	規則と照明（3）	選言導入と選言除去	講義
7	規則と照明（4）	否定の処理則 二重否定、背理法等	講義 演習
8	終講試験	筆記試験	
履修上の留意点		理解確認のため、練習問題を解きながら学習を進める。	
1)	テキスト	1) 金子洋之著：記号論理学入門、産業図書出版	
2)	参考文献		
評価方法		最終回の試験によって評価する。	

基礎分野	科目名：情報科学	講師：外部講師	1 単位 30 時間 (1 年次後期)	
学習目標	1. 情報科学の基礎理論を学び、人と情報社会との関係を理解する。 2. 情報の整理と活用の基礎を学ぶ。			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	
1	1. 情報の概念	1) 情報とデータ	講義 演習	
2	2. コンピューターの歴史と動作原理	1) コンピューターの歴史 2) 動作原理		
3 4 5	3. ICT リテラシー	1) 情報基礎リテラシー ①情報を探し出す能力 ②情報を精査する能力 ③情報を使う能力		
6 7 8		2) コンピューターリテラシー コンピューターの基本操作 Word Excel PowerPoint		
9 10 11 12		3) ネットワークリテラシー ①インターネットの正しい使い方 ②利用する上でのモラル		
13 14 15	4. 情報倫理と情報セキュリティ	1) 情報倫理とは 2) 情報セキュリティ		
履修上の留意点		・インターネットでの情報検索における倫理的姿勢（著作権など）について重要性を考える。 ・情報科学室で講義を行う。		
1) 使用テキスト 2) 参考書		1) 「情報科学入門」 サイオ出版		
評価方法		課題提出で成績評価		

基礎分野	科目名：人間工学	講師：外部講師	1 単位 15 時間 (1 年次前期)
学習目標	1. 人間を取り巻く環境や日常生活動作、作業の効率性・安全性について力学的視点から理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1 2 3	1. 人間の形態的特徴と筋力的特徴	1) 力とつりあい 2) 動体力学 3) 姿勢と生活動作	講義
4	2. ユニバーサルデザイン	1) ユニバーサルデザインとは 2) 日常生活の中のユニバーサルデザイン (日常生活品、バリアフリー、ピトグラムなど)	講義
5 6 7	3. 安全管理	1) 医療における人間工学の活用 2) 作業の安全性 3) 事故防止	講義
8	試験	筆記試験 45 分	
履修上の留意点		自主的に事前学習、復習を行い講義に臨む	
1) テキスト 2) 参考書		1) 小川鑛一著：看護動作を助ける基礎人間工学 東京電気大学出版局，1999	
評価方法		1. 筆記試験	

基礎分野	科目名：教育学	講師：外部講師	2 単位 30 時間 (1 年次前後期)
学習目標	1. 人間形成における教育の機能について理解する。 2. 人間の持つ力を引き出すための教育の意義・方法を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1 2	1. 人間の成長と教育	1) 看護教育における教育学 2) 教育の意義と機能	講義
3 4 5 6	2. 教育の公共性と制度	1) 教育の公共性 2) 学校教育の制度 3) 多様な教育機会保障 4) 学習する組織とリーダーシップ	講義/ グループワー ク
7 8 9 10	3. 家庭・社会と教育	1) 家庭教育と子どもの権利 2) 社会教育と生涯学習 3) 子どもの貧困と若者支援 4) 特別支援教育	講義/ グループワー ク
11 12	4. 教育の方法と評価	1) 教育の目的と方法 2) 教育評価	講義
13 14	5. 現代教育の諸問題	1) 現代社会と今後のビジョン 2) 社会の中の教育・医療・福祉	講義
15	試験	筆記試験・まとめ	試験 講義
履修上の留意点	1. 教育の基礎となる教育技法はここで教授する。看護師が行う指導技術については基礎看護学で学ぶ。 2. 毎回、終了時、A5 用紙への授業内容に関する感想・質問等の記入を求めます。		
1) テキスト 2) 参考書	テキスト指定なし		
評価方法	筆記試験		

基礎分野	科目名：心理学	講師：臨床心理士	1 単位 30 時間 (1 年次前期)
------	---------	----------	------------------------

学習目標		1. 人間の心の仕組みや、状況によって変化する心と身体の様態を理解する 2. 自己理解・他者理解の方法を学ぶ。	
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1 2	1. 心理学とは	1) 心の動き 2) 心と行動のメカニズム	講義
3 4 5 6	2. 心理学の基礎概念	1) 知覚の心理 2) 記憶の心理 3) 発達の心理 4) 学習の心理	講義
7 8 9 10 11	3. 心理学における問題	1) コミュニケーションの心理と病理 2) 社会的態度と偏見 3) 人格の正常と異常	講義
12 13 14	4. 人格へのアプローチ	1) 心理・発達・知能・人格検査 2) カウンセリング	講義
15	試験	筆記試験・まとめ	試験
履修上の留意点		1 講義では <u>A5 用紙への授業内容に関する感想・質問等の記入</u> を 求める。 2. テキストと配布資料は常にすべて持参する。 3. 学習形態はその都度指示する	
1) テキスト 2) 参考書		1) 心理学 【カレッジ版】 医学書院	
評価方法		1. 筆記試験	

基礎分野	科目名：社会学	講師：外部講師	1 単位 15 時間 (1 年次前期)
------	---------	---------	------------------------

学習目標		1. 社会的存在としての人間を理解する。 2. 家族・地域社会・職場という基本的な生活領域を理解する。 3. 基本的な生活領域を方向づけている現代社会を理解する。 4. 日常生活と大きな社会を結びつけることのできる「社会学的想像力」を養う。	
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 人間と社会	1) 人間とは何か 2) 社会と個人 3) 個人・集団・社会	講義
2 3	2. 家族	1) 家族とは何か 2) 日本の伝統家族 3) 近代家族の形成 4) 現代家族の諸課題	講義
4	3. 地域社会	1) 地域社会とは何か 2) 日本の伝統的な地域社会 3) 近代化と地域社会の危機 4) コミュニティの再建	講義
5	4. 職業	1) 職業とは何か 2) 職場としての組織集団 3) 組織集団の運営 4) 組織集団の諸課題	講義
6 7	5. 現代社会	1) 近代社会の理念 2) 近代社会の実態 3) 現代社会の生成 4) 現代社会の諸課題	講義
8	終講試験	筆記試験 45分	試験
履修上の留意点		社会学は抽象的な説明が多いが、講義では具体例に即して話をするので、自分自身の生活そして看護師の仕事とどう関わるか、常に想像力を働かせて授業に臨むこと。	
1) テキスト		なし	
評価方法		論述式試験による評価を行う。	

基礎分野	科目名：倫理学	講師：外部講師	2 単位 30 時間 (1 年次前期)
------	---------	---------	------------------------

学習目標	倫理学の学習を通じて、将来の医療従事者として主体性と責任をもって行動することの重要性を学ぶ		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	古代ギリシャ古典期の哲学・倫理学	第一期：前五世紀後半のアテナイの「ソフィスト思潮」の時代から、ソクラテスの死で区切られる。	講義
2		第二期：ソクラテス刑死を受けて起こった論争から「ソクラテス文学」が発展した前四世紀前半である。	
3		第三期：プラトンの学園アカデメイアで本格的な学問研究が行われた前四世紀後半で、プラトンのもとに集まった哲学者たち、とりわけアリストテレスがどのように哲学を1つの完成にもたらしたのかが重要となる。	
4	ソフィスト思潮		
5	プロタゴラスとゴルギアス		
6	アス		
7	言論の技術		
8			
9			
10	ソクラテス	対話による生の吟味	講義
11	徳と知		
12	ソクラテス文学とプラトン		講義
13			
14	アンティステネス	ソフィストとソクラテスのハイブリッド	講義
	プラトン	対話編と学園の哲学	講義
	魂とイデア		
	クセノフォン		
	イソクラテス	弁論と哲学の一致 第25章	講義
	アリストテレス	あらゆる学問知識の探求	講義
15	終講試験	筆記試験、まとめ	試験
履修上の留意点		・生命倫理については保健医療論で深める。	
1) テキスト		使用しない	
評価方法		筆記試験	

基礎分野	科目名：人間関係論	講師：外部講師	2単位30時間 (1年次後期)
------	-----------	---------	--------------------

学習目標		1. 人間関係形成の基礎を理解する。 2. 人間関係を発展させるコミュニケーション技法を学ぶ。	
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 人間関係論とは	1) 人間関係形成の基礎	講義
2 3 4 5	2. 人間関係の発達	1) 現代社会と人間関係 2) 人間関係分析の視点 3) 自己理解と他者理解 4) 援助的人間関係	講義
6 7 8	3. コミュニケーションとは	1) コミュニケーションの意義 2) コミュニケーションの構成要素と種類	講義
9 10 11 12 13 14	4. コミュニケーション技法	1) カウンセリング 2) コーチング 3) アサーティブネス	講義 演習
15	試験	筆記試験・まとめ	
履修上の留意点		<p>・講義と合せて演習で人間関係を発展させる技術を体験的に学ぶ内容とする。</p> <p>1. 授業用の書籍・テキスト：なし</p> <p>2. 資料、プリントを講義担当者側で準備し配布する。</p> <p>3. 毎時間の冒頭に国家試験対策問題を解く時間を設ける（講義担当者の方で簡単な解説を行うー解答と解説、合わせて10分程度）。</p> <p>4. 講義と合せて演習で人間関係を発展させる技術を体験的に学ぶ内容とする。</p>	
1) テキスト		なし	
評価方法		<p>1. 終講試験：筆記試験</p> <p>2. 各時間の発表内容や提出物の内容も評価する。</p> <p>3. 出席、受講態度についても重視して評価する。</p>	

基礎分野	科目名：英語 I	講師：外部講師	1 単位 15 時間 (1 年次後期)
------	----------	---------	------------------------

学習目標		1. 日常場面における基礎的な英会話を学ぶ。	
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 日常生活 場面での 英会話	1) 自己紹介	講義 演習
2		2) 日常生活場面 ① 学校	
3		2) 日常生活場面 ② 買い物	
4		2) 日常生活場面 ③ 旅行	
5		2) 日常生活場面 ④ 待ち合わせ	
6		2) 日常生活場面 ⑤ 電話	
7		2) 日常生活場面 ⑥ 何かで困っている外国人と遭遇	
8	試験	筆記試験 45分	
履修上の留意点		1. 毎回、英語辞書を持参すること	
1) テキスト 2) 参考書		講義で使用する資料は配布する	
評価方法		筆記試験に平常の授業における学習態度を加味し、最終の成績とします。 最終の成績が50～59点はレポート。それ以下は再履修。	

基礎分野	科目名：英語Ⅱ	講師：外部講師	1単位 15時間 (2年次前期)
------	---------	---------	---------------------

学習目標		1. 看護の場における基礎的な英会話を学ぶ。 2. 会話表現を発語とともに書けるようになる。	
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 看護場面での英会話	1) 外来 ①Unit 1: 初めての外来	講義 演習
2	外来	1) 外来 ②Unit 2: 問診 「どうかしましたか？」 Unit 3: 問診	講義 演習
3		1) 外来 ③Unit 4: 案内	講義 演習
4		1. 看護場面での英会話	2) 療養生活場面 ①Unit 7: 情報収集
5	療養生活場面	2) 療養生活場面 ②Unit 8: 検査時の指示 Unit 9: 薬の内服の指示・説明	講義 演習
6		2) 療養生活場面 ③Unit 12: シーツ交換	講義 演習
7		2) 療養生活場面 ④Unit 15: 退院	講義 演習
8	試験	筆記試験	
履修上の留意点		1. 講義時は英和辞典（電子辞書も可）を必ず持参すること	
1) テキスト 2) 参考書		1) クリスティーンのやさしい看護英会話 医学書院	
評価方法		筆記試験 70%、小テスト30%の総合評価とします。	

基礎分野	科目名：健康科学	講師：外部講師	1 単位 15 時間 (1 年次前期)
------	----------	---------	------------------------

学習目標		1. 健康維持にとってのスポーツの役割を理解する。 2. 健康な生活を送るために必要な身体運動の実際を学ぶ。	
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 健康と運動	1) 運動の目的 2) 健康管理と運動 3) 発達段階・性別・経験にあわせた運動の必要性	講義
2	2. 運動の種類と効果 3. 実技	1) 有酸素運動と無酸素運動 2) 柔軟性と障害予防 <実技> ・バレー ・ドッジボール ・バドミントン など	実技
3			実技
4			実技
5			実技
6			実技
7			
8	試験	筆記試験 45分	
履修上の留意点		1. テキストはなし 2. 配布資料は持参する。 3. 学習形態はその都度指示する。 実技はジャージ・運動靴着用する	
1) テキスト 2) 参考書		指定なし	
評価方法		1. 通常の評価 2. 企画・運営の評価 3. 筆記試験	